

令和8年度小論文試験 学校推薦型選抜（A推薦，B推薦），帰国生選抜，  
 社会人選抜，国際バカロレア選抜（畜産）

（試験時間90分）

問1. 表1は日本におけるコメの生産に関する統計データを，表2は日本における国民1人当たりの1日の供給熱量，図1は日本の総人口の推移を示している。それぞれの資料から読み取れる事柄を述べ，日本の農業においてどのような変化があったか，あなたの考えを300字程度で述べなさい。

表1. 水稲の年次別推移（全国）

年度	主食用 作付面積 (ha)	収穫量 (主食用) (t)
2008	1,596,000	8,658,000
2009	1,592,000	8,309,000
2010	1,580,000	8,239,000
2011	1,526,000	8,133,000
2012	1,524,000	8,210,000
2013	1,522,000	8,182,000
2014	1,474,000	7,882,000
2015	1,406,000	7,442,000
2016	1,381,000	7,496,000
2017	1,370,000	7,306,000
2018	1,386,000	7,327,000
2019	1,379,000	7,261,000
2020	1,366,000	7,226,000
2021	1,303,000	7,007,000
2022	1,251,000	6,701,000
2023	1,242,000	6,610,000
2024	1,259,000	6,792,000

表2. 日本における国民1人当たり1日の供給熱量 (kcal)

年度	米	小麦	肉類	魚介類	油脂類	その他	合計
2008	573.9	312.7	166.6	127.4	348.8	934.8	2,464.2
2009	568.2	319.7	167.0	122.5	330.0	921.6	2,429.0
2010	580.4	329.5	169.8	110.3	340.5	916.1	2,446.6
2011	562.3	329.5	172.4	107.3	341.2	924.2	2,436.9
2012	548.3	332.0	174.4	105.6	343.0	925.7	2,429.0
2013	554.4	329.5	174.7	99.7	343.5	920.9	2,422.7
2014	544.2	330.1	175.5	102.3	356.6	913.8	2,422.5
2015	534.0	328.6	177.8	100.3	358.6	916.5	2,415.8
2016	532.9	331.0	183.3	99.1	358.1	923.3	2,427.7
2017	530.2	332.2	189.5	97.2	356.4	929.1	2,434.6
2018	523.9	323.4	192.4	95.7	356.1	931.0	2,422.5
2019	495.9	303.6	177.1	90.9	350.8	915.2	2,333.5
2020	475.6	300.2	178.1	83.7	349.3	883.1	2,270.0
2021	481.8	298.7	180.0	81.2	338.5	885.5	2,265.7
2022	476.5	299.1	180.0	76.3	320.0	900.5	2,252.4
2023	477.7	292.3	178.9	76.3	310.5	867.2	2,202.9

農林水産統計：令和5年度食料需給表より作成  
 供給熱量とは、国民全体に供給された総熱量。

農林水産省統計部「作物統計」より作成  
 収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された  
 玄米の重量である。

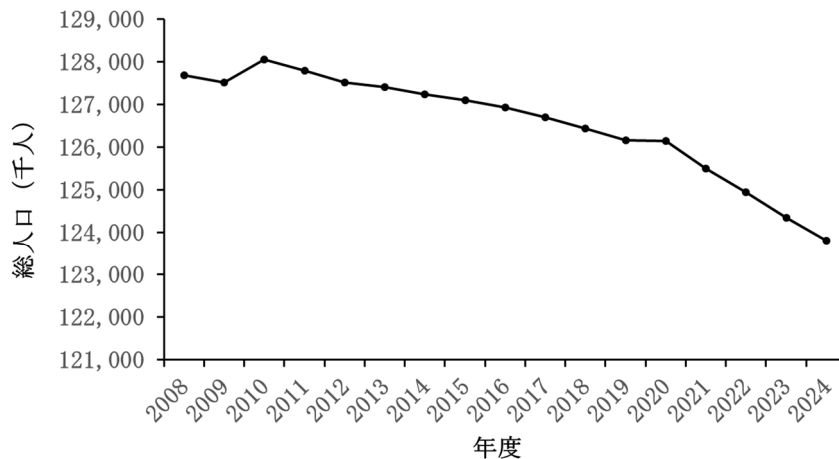


図1. 日本における総人口の推移  
 総務省統計局：令和6年人口推計より作成

問2. 次の図表を参照して以下の間に答えなさい。

(1) 表3の精米歩留りのデータでは、令和4年産が90.0%、令和5年産が88.6%となっている。表1の収穫量データより玄米収量は、令和4(2022)年が6,701,000t、令和5(2023)年が6,610,000tである。どちらの年が、何t多く白米に精米できたかを計算しなさい。

※「精米歩留り」とは、玄米を精米した際に、元の玄米の重さに対して精米後の白米の重量がどれくらいの割合で残っているかを示す指標。

令和  年の方が  t 多く精米できた。

(2) 昨今の日本の米不足・価格高騰について、図2および表3~5の数値を用いて、また、問1で解答した説明の内容を踏まえて、どのような要因で米の供給が減少し、どのような要因がR5~R6の需要を喚起したか400字程度で説明しなさい。

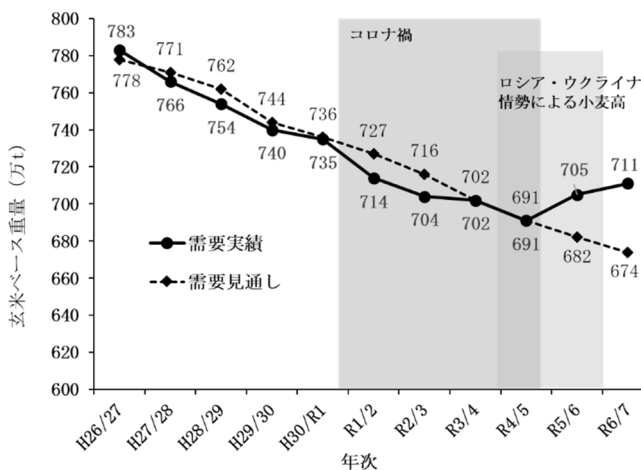


図2. 米の需要実績と需要見通しの推移  
出典：農林水産省「今般の米の価格高騰の要因や対応の検証」より引用、一部改編

表3. 精米歩留りの推移

年産	精米歩留り (%)	精米歩留り (%)		
		大手卸売業者	地方卸売業者	米穀店
R2年産	89.7	89.8	89.3	89.7
R3年産	90.3	90.5	89.7	90.0
R4年産	90.0	90.2	89.5	89.6
R5年産	88.6	88.8	88.1	88.6
R6年産	89.2	89.4	88.9	88.8

出典：農林水産省「今般の米の価格高騰の要因や対応の検証」

表4. インバウンド需要の試算

年次	訪日外国人数	平均泊数	訪日外国人当たり米食回数	訪日外国人による米の需要量
R4~5年	1,404万人	8.8泊	17.7回	2.1万t
R5~6年	3,214万人	10.1泊	20.3回	5.6万t
R6~7年	4,061万人	9.0泊	18.0回	6.3万t

出典：農林水産省「今般の米の価格高騰の要因や対応の検証」

表5. 米類・パン・めん類の消費者物価指数

年	R3	R4	R5	R6	R7
米類	97.5	91.5	95.0	106.7	213.5
パン	99.4	110.6	120.9	121.3	126.1
めん類	99.0	109.5	121.6	120.3	121.0

出典：総務省「消費者物価指数」(令和2年基準)

※「消費者物価指数」とは、商品の価格変化を比率で表した指数

問3. 令和7年の米不足と価格高騰により、政府は備蓄米の放出や輸入米の活用などを進めているが根本的な解決には至っていない。あなたが考える日本の米不足・価格高騰を緩和するための方策について具体的に400字程度で述べなさい。